

年頭のごあいさつ

新年おめでとうございます。

皆様には輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大きな水害に見舞われず安堵いたしました。3月16日に2年連続となる福島県沖地震が発生するとともに、3年目となった新型コロナも収束を見せず、自然災害や感染症への備えに更に注力した一年でした。

一方、税収の増加や好調な企業立地のほか、文化スポーツにおいては、学校音楽コンクールにおける数々の好成績や市町村対抗競技での優勝など、喜ばしいニュースが相次ぎました。

本年も、市民の皆様や事業者の皆様の、それぞれの分野における「自己ベスト」更新を御期待申し上げます。

さて、我が国を取り巻く社会経済状況は、長引くコロナ禍の中、ウクライナや中台関係の緊張など国際情勢の不安、原油価格の高騰をはじめとする物価高など、我々が経験したことのない事態が次々と発生しており、国内においては、年間出生数が年々減少し、本市では統計調査開始以来、初めて2千人を下回る状況となっております。

また、本年は、こども家庭庁の創設やインボイス制度導入のほか、75歳以上の高齢者が2千万人を突破するとともに総世帯数がピークを迎えると予測されるなど、私たちに課せられた課題は山積しております。

このような状況においても、我が国が国際競争力を維持していくためには、次代を担う子どもたちには一人二役、一人三役の活躍が不可欠です。

そのため、「ベビーファースト」の理念のもと、市民・団体・事業所等の皆様との「公民協奏」により、すべての分野において、DXを強力に推進するとともに、環境改善や経済社会システムの改革へ向けたGX（グリーントランスフォーメーション）へ取り組み、子どもや若者が活躍できる環境を整備してまいります。

来年2024年は、市制施行100周年の記念すべき節目の年となります。

安積開拓の理念「開物成務」のもと、自治力、並びに生涯学習の精神により、市民の皆様や企業の方々が自由に、そして存分に活動でき、次の100年の礎となる「誰一人取り残されない持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となることを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。